

平成 29 年度

教育委員会所管
主要な施策の成果に関する報告書
〔 多賀城市まちづくり報告書 〕
〔 第五次多賀城市総合計画進捗状況報告 〕

多賀城市教育委員会

多賀城市まちづくり報告書の構成

IV 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)

1 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

2 全体の動向(施策別評価)

- (1) 施策別評価の概要
- (2) 成果指標全体のうごき(施策・基本事業別)
- (3) 政策別の成果指標全体のうごき(施策・基本事業合計)
- (4) 成果指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)
- (5) 政策別の成果指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)
- (6) まちづくりアンケートの結果
- (7) (参考)統計の見方

3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 政策1 | 安全で快適に暮らせるまち <安全・快適分野> |
| 政策2 | 元気で健やかに暮らせるまち <健康福祉分野> |
| 政策3 | 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち <教育文化分野> |
| 政策4 | 環境を大切にする心を育むまち <環境分野> |
| 政策5 | 集い つながり 活気あふれるまち<産業分野> |
| 政策6 | 心がかよう地域の絆を育むまち <地域経営分野> |
| 政策7 | 理解と信頼で進める自律したまち <行政経営分野> |

Ⅳ 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)

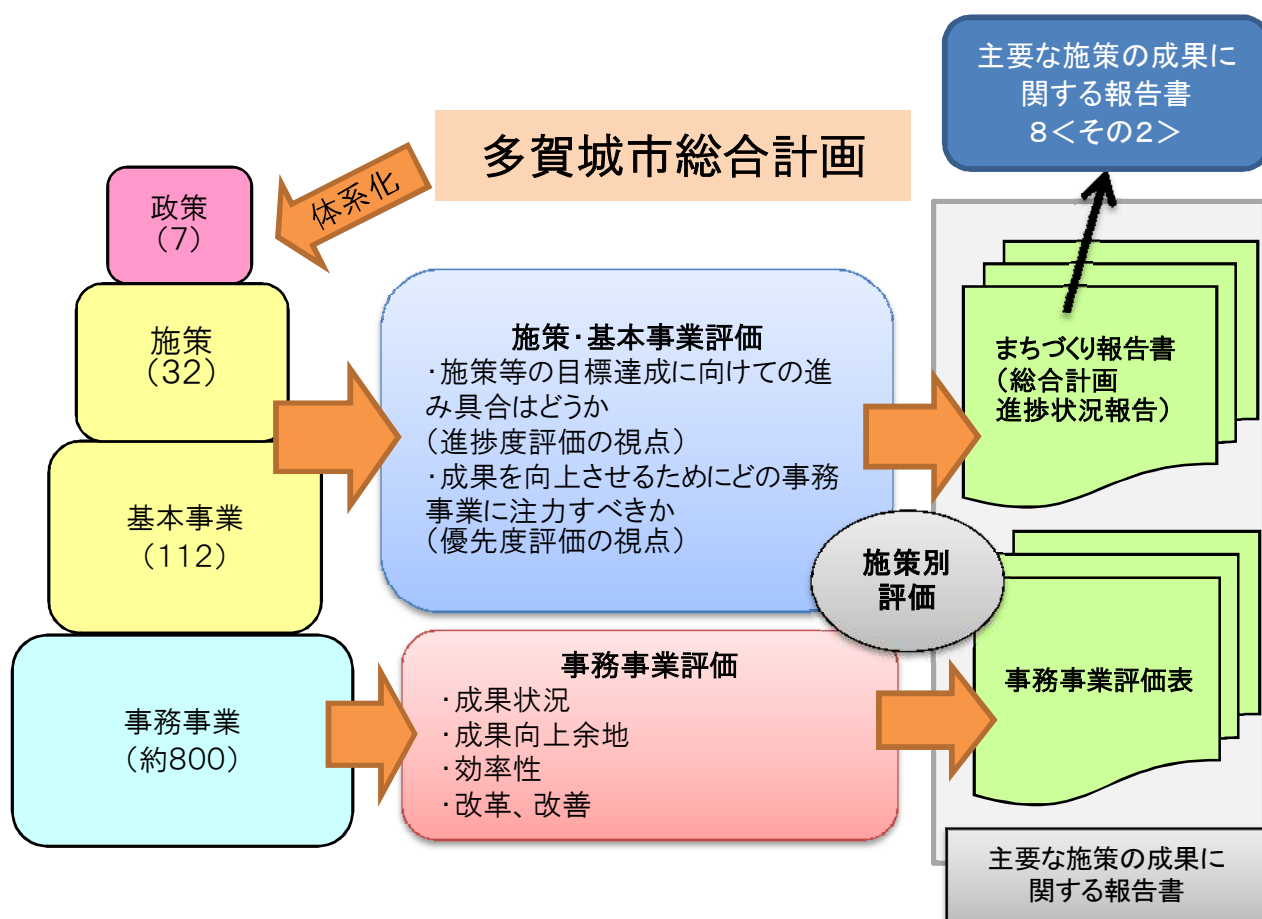
1 多賀城市まちづくり報告書(第五次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

多賀城市まちづくり報告書は、総合計画の目指すまちの姿の実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるのか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、平成29年度の決算を踏まえて、まちづくりの成果報告書として作成しています。

施策、基本事業における成果指標の推移を踏まえた成果状況等の結果を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況等を明らかにしています。

また、複数年での指標の推移を確認することにより、指標のうごきが外的要因による突発的なものなのか、社会情勢の変化等による必然的なものなのかを見る目安となり、限られた行財政資源の「選択と集中」及び行政活動の「改革と改善」への活用が期待されます。

一般的には、事務事業の成果が向上することで基本事業の成果が向上し、基本事業の成果が向上することで施策の成果が向上する仕組みになっています。



3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

政策 01 安全で快適に暮らせるまち

施策 01 災害対策の推進

施策の成果状況は、左側のページとなるよう調整しています。

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民、行政区、事業者、行政	防災への取組によって、市民が安心して生活できます。

「対象」は施策や基本事業が働きかける対象(人やモノ)を示しています。

「意図」は施策や基本事業を展開することで「対象」をどのような状態にしたいのか、その目標とする姿を示しています。

【指標の区分】

目指す姿の実現具合を測るものさしとして設定している成果指標は、その特性により次の3つに区分しています。

成果: 目指す姿の達成度を示すもの

社会: 事業状況を指標化したものの、行政の関与よりも社会経済情勢等の影響が大きいもの

代替: 成果の指標化が難しい場合に、代替指標として行政の活動量等を設定したもの

【取得方法】

市民アンケート: 毎年定期的に市民3,000人を対象に行うアンケートにより取得する方法

職員アンケート: 毎年定期的に職員を対象に行うアンケートにより取得する方法

業務取得: 通常の業務内で取得する方法

課独自調査: この成果指標を取得するために各課等が行うアンケート等により取得する方法

【指標特性】

上がると良い: 数値が上がると良い指標

下がると良い: 数値が下がると良い指標

その他: 数値の増減でよし悪しを判断できない指標

【後期基準値】

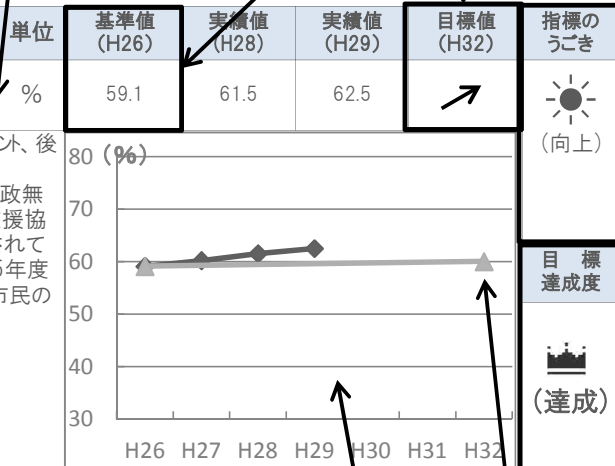
平成26年度としています。

【担当課】平成30年度担当部署です。

施策の成果状況と評価

まち(市民、地域、行政)の防災に対する備えが整っていると思う市民割合

① 成果 市民アンケート 上がると良い 交通防災課



(状況) 平成29年度は62.5%で、平成28年度より1.0ポイント、後期基準値より3.4ポイント増加しており、順調です。
(原因) 東日本大震災後の速やかな災害復旧や防災行政無線の整備、総合治水対策の推進、津波避難ビル等の支援協定締結、災害用備蓄品の整備など行政の取組が認知されていることに加え、地域の自主防災組織が充実し、平成25年度から毎年実施している総合防災訓練への参加などが、市民の安心感向上につながったものと考えられます。

【評価】

「(状況)」は、指標値の増減、指標のうごき、目標達成度に関する評価を記載しています。

「(原因)」は、状況に対する原因分析の内容を記載しています。

◆は、各年度ごとの実績値です。指標の実績値の推移をグラフで示しています。

▲は、平成32年度の目標値を示しており、グラフ上の最も過去の実績値から目標値への方向性をラインで示しています。

【掲載している施策・基本事業は、掲載例です。実際の内容とは異なります。】

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 防災意識の向上

基本事業 02 地域防災力の向上

基本事業 03 建物の耐震化の推進

基本事業 04 浸水対策の推進

基本事業 05 災害支援体制の推進

基本事業 06 津波対策の推進

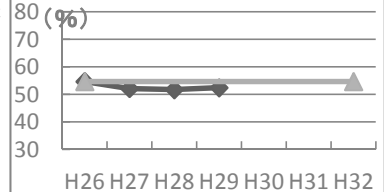
基本事業の成果状況は、はじめりが右側のページとなるよう調整しています。

施策の基本事業の構成を示しています。

施策評価と見方は一緒です。

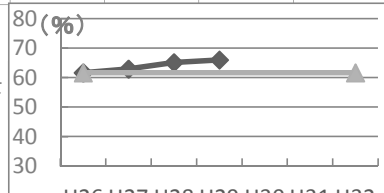
基本事業01 防災意識の向上

災害への備えをしている世帯割合

指標 ①					単位	(H26)	(H28)	(H29)	(H32)	うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	交通防災課	%	54.7	51.7	52.4	→	
評価	(状況)平成29年度は52.4%で、平成28年度より0.7ポイント増加しましたが、後期基準値より2.3ポイント減少しています。 (原因)20歳代において、他の年齢層に比べ防災訓練への参加や非常用食品を備蓄している割合が低いことが、要因の1つです。					 80 (%) 70 60 50 40 30 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32				(横ばい)
										目標達成度
										 (中)

基本事業02 地域防災力の向上

災害時に地域で助け合いができると思う市民割合

指標					単位	(H26)	(H28)	(H29)	(H32)	うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	交通防災課	%	61.6	65.1	66	➡	
評価	(状況)平成29年度は66.0%で、平成28年度より0.9ポイント、後期基準値より4.4ポイント増加しています。 (原因)男女別、年齢別、地域別全てにおいて増加傾向にあり、特に30～40歳代と75歳以上が高い数値となっています。日頃から交流があった子育て世代や高齢者同士が、震災時に助け合ったり、励ましあったりした実体験などが成果を向上させた大きな要因と考えられます。また、平成26年度から市内小中学校が、総合防災訓練に参加していることも要因の1つと考えられます。									(向上)
										目標達成度
										 (達成)

【目標値】

目標値は、次の3つのパターンで表わしています。

数値：業務データから現状値を把握するもの

矢印：目標値を数値で表しにくいもの(アンケートによる把握等)と現状維持のもの

※アンケートについては、統計誤差の関係があるため、方向性を矢印で表し、数値で目標を設定していません。

ー：社会・経済情勢等の影響が大きい社会指標や目標設定がなじまない代替指標としているもの

【指標のうごき】

後期基準値(又は取得初年度)と比較した際の平成29年度の成果指標のうごきを、次の区分により示しています。

なお、アンケートから数値を取得しているものは、一定の統計誤差を考慮しています。

☀(向上)：数値(成果)が後期基準値(又は取得初年度)より向上しているもの

☁(横ばい)：数値(成果)が後期基準値(又は取得初年度)に比べ横ばい(微向上)又は横ばいであることが望ましいもの

☂(横ばい)：数値(成果)が後期基準値(又は取得初年度)に比べ横ばい(微低下)であるもの

☔(低下)：数値(成果)が後期基準値(又は取得初年度)に比べ低下しているもの

ー：平成29年度に実績値がないもの、平成26～28年度の実績値がないもの又は指標特性が「その他」のもの

【目標達成度】

成果指標の平成32年度の後期目標値への達成度合いを示しています。

🏰(達成)：目標値を既に達成しているもの

📊(高)：目標年度前に目標値を達成する可能性が高いもの

📊(中)：目標年度で目標値を達成する可能性が高いもの

📊(低)：目標年度で目標値を達成することが難しいもの

ー：目標値がないもの又は指標特性が「その他」のもの

政策3

歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

＜教育文化分野＞

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 01 学校・家庭・地域の連携による教育力の向上

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
幼児、18歳以下の青少年とその保護者、地域住民、学校	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが生き生きと安全に暮らしています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校・家庭・地域が連携し、地域で子どもが健全に育成されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	43.7	46	48.8	➔
評価	(状況) 平成29年度は48.8%で、後期基準値より5.1ポイント、平成28年度より2.8ポイント増加しています。全世代で微増傾向にあり、特に20代及び30代で、平均5ポイント増加しています。 (原因) 学校・家庭・地域が連携した様々な協働教育の取組が浸透してきたことが要因と考えられます。								☀ (横ばい)
									目 標 達 成 度 ■■■ (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

基本事業 02 放課後等の安全・安心な居場所づくり

基本事業 03 家庭教育力の向上

基本事業 04 青少年の健全育成

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標①	学校支援地域本部の設立により地域の力を活用している学校数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	校	7	10	10	10	(横ばい)
評価	(状況) 市内小中学校10校全てで事業を実施しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 教職員を対象とした研修会の開催や、他の学校の取組事例や事業効果等を共有し、事業の意義が正しく理解されてきたことにより、地域住民の参画で多様な事業を実施することが可能となりました。									目標達成度 (達成)

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

指標②	学校支援事業件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	件/年	36	64	90	55	(向上)
評価	(状況) 平成29年度は90件で、後期基準値より54件、平成28年度より26件増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校の状況を確認しながら、子どもたちのよりよい教育環境構築のため、学校・家庭・地域が連携した幅広い事業を実施しています。また取り組んだ事業について評価・検証し、効果の高い事例を各学校で共有しながら新たな取組を増やしていることが要因と考えられます。									目標達成度 (達成)

基本事業01 学校・地域が連携した子どもたちの育成

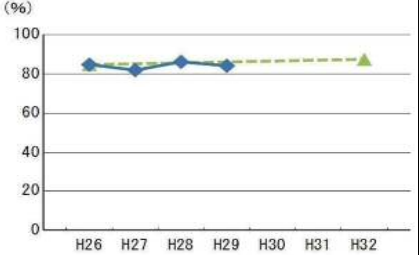
指標③	学校・地域が連携する活動の延べ協力者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	4,525	8,505	9,211	7,800	(向上)
評価	(状況) 平成29年度は9,211人で、後期基準値より4,686人、平成28年度より706人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校支援地域本部事業の取組が定着してきたことが要因と考えられます。学校支援地域本部事業については、教職員の研修や効果の高い事例を各学校で共有しながら、新たな取組を増やしているところです。									目標達成度 (達成)

基本事業02 放課後等の安全・安心な居場所づくり

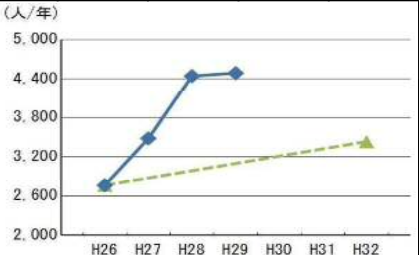
指標①	放課後の安全な子どもの居場所・遊び場があると思う保護者割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	39.4	47.5	42.8	→	(横ばい)
評価	小学生の子どもを持つ保護者が対象 (状況) 平成29年度は42.8%で、平成28年度より4.7ポイント減少しているものの、後期基準値より3.4ポイント増加しています。 (原因) 放課後子ども教室の取組みが定着してきたことや、復旧・復興事業の進展に伴う物理的な環境整備が要因と考えられます。									目標達成度 (高)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 家庭教育力の向上

指標①	基本的生活習慣の自分の子どもの実践度（早寝、早起きほか）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	84.8	86.2	84.2	➔	
評価	全国学力・学習状況調査による指標です。									(横ばい)
	(状況) 平成29年度は84.2%で、平成28年度より2.0ポイント減少していますが、ほぼ横ばいです。 (原因) 保護者が集まる学校行事の機会を利用して、子育てに関する講座や研修会を開催し、家庭教育の重要性の理解及び実践を働きかけていることが、水準の維持に繋がっている要因と考えられます。									目標達成度 (中)

基本事業04 青少年の健全育成

指標①	青少年育成活動事業の延べ参加者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	2,763	4,444	4,489	3,430	
評価										(横ばい)
	(状況) 平成29年度は4,489人で、後期基準値より1,726人、平成28年度より45人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 青少年育成事業、ジュニアリーダー活動など様々な活動事業のうち、特にジュニアリーダー活動延べ人数が増えています。ジュニアリーダーの活動を学校や地域に広く周知し知名度を上げるとともに、ジュニアリーダーの育成強化と家庭や地域、学校などで活動できるよう支援したことにより、派遣回数が増えたことが要因と考えられます。									目標達成度 (達成)

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 02 学校教育の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
児童・生徒、小中学生を持つ保護者、市内の公立学校に勤務する教職員、地域住民	児童・生徒が充実した学校生活を送っています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	学校生活が楽しいと思う児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	88.7	89	89.8	➔	☀ (横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は89.8%で、後期基準値より1.1ポイント、平成28年度より0.8ポイント増加しています。 (原因) 授業がわかると答える児童の割合、学校給食残食率ともに後期目標を達成していることの影響が大きいと考えられます。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の配置による相談体制充実の効果も表れていると考えられます。									目標 達成度
										■ (高)

指標 ②	学校生活が楽しいと思う生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	72.7	70	70.5	➔	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成29年度は70.5%で、平成28年度より0.5ポイント増加しているものの、後期基準値より2.2ポイント減少しています。 (原因) 家庭状況、家庭環境問題といった対応を要する事象が増加していることが要因と考えられます。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー等の配置による生徒の再登校率と授業がわかると答える生徒割合の向上もあり、平成28年度以降は徐々に向上しています。									目標 達成度
										■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 郷土愛を育む教育の推進

基本事業 02 教育の質の向上

基本事業 03 健康づくりと食育の充実

基本事業 04 教育相談体制の充実

基本事業 05 安全・安心な教育環境の整備

基本事業 06 新たな時代に対応するための取組推進

基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標①	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ小学校3年生以上の授業数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	学校教育課	時数/年	708	776	865	720	
評価					(時数/年)					(向上)
	(状況) 平成29年度は865時数/年で、後期基準値より157時数/年、平成28年度より89時数/年の増加で、各学校の取組も充実し、後期目標値を達成しています。 (原因) 地域の人材と素材を活用しながら、地域と連携した学習を日常的に取り入れ、積極的に推進したことが要因です。									目標 達成度 (達成)

基本事業01 郷土愛を育む教育の推進

指標②	多賀城の歴史・文化・まちについて学ぶ中学校授業数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	学校教育課	時数/年	136	165	183	150	
評価					(時数/年)					(向上)
	(状況) 平成29年度は183時数/年で、後期基準値より47時数/年、平成28年度より18時数/年の増加で、各学校の取組も充実し、後期目標値を達成しています。 (原因) 各校の授業研究の充実や研修会への積極的な参加などが要因と考えられます。基本的な生活習慣を身に付けて児童が落ち着いた生活を送れるような環境づくりへの持続的な取組も、要因の1つと考えられます。									目標 達成度 (達成)

基本事業02 教育の質の向上

指標①	授業がわかると答える児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	86.6	90.8	91.1	→	
評価					(%)					(向上)
	(状況) 平成29年度は91.1%で、後期基準値より4.5ポイント、平成28年度よりも0.3ポイント増加し、後期目標を達成すると共に、震災前の水準に回復しています。 (原因) 各校の授業研究の充実や研修会への積極的な参加などが要因と考えられます。基本的な生活習慣を身に付けて児童が落ち着いた生活を送れるような環境づくりへの持続的な取組も、要因の1つと考えられます。									目標 達成度 (達成)

基本事業02 教育の質の向上

指標②	授業がわかると答える生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	学校教育課	%	66.8	77.6	76	→	
評価					(%)					(向上)
	(状況) 平成29年度は76.0%で、平成28年度よりも1.6ポイント減少していますが、後期基準値より9.2ポイント増加しており、後期目標を達成しています。 (原因) 各校の授業研究の充実や研修会への積極的な参加などが要因と考えられます。基本的な生活習慣を身に付けて生徒が落ち着いた生活を送れるような環境づくりへの持続的な取組も、要因の1つと考えられます。									目標 達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標①	基本的生活習慣を身につけている児童割合（小学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	86.1	87.5	84.6	→	
評価	（状況）平成29年度は84.6%で、後期水準より1.5ポイント、平成28年度より2.9ポイント減少しており、全体としては中程度の水準で横ばいです。 （原因）日常生活での良い習慣を身に付けるための家庭教育や食育への取組が一定の効果を持続していると考えられます。「良い習慣」のひとつである「学校での出来事について話をする」児童の割合が食事や睡眠の項目における児童の割合より減少幅が大きいことが要因です。									(横ばい)
										目標達成度 ■■ (中)

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標②	基本的生活習慣を身につけている生徒割合（中学生）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	83.4	84.9	83.8	→	
評価	（状況）平成29年度は83.8%で、平成28年度より1.1ポイント増加していますが、後期基準値より0.4ポイント増加しており、横ばいです。 （原因）日常生活での良い習慣を身に付けるための家庭教育や食育への取組が一定の効果を持続していると考えられます。スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーなど相談体制を整備したことも、要因のひとつと考えられます。									(横ばい)
										目標達成度 ■■ (中)

基本事業03 健康づくりと食育の充実

指標③	学校給食残食率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	%	17.2	17.4	17	18	
評価	（状況）平成29年度は17.0%で、後期基準値より0.2ポイント、平成28年度より0.4ポイント減少しており、後期目標値を達成しています。 （原因）給食センターに栄養教諭、栄養士が配置され、各学校での食育に関する指導が充実しています。「食育展」など一般市民に食育の重要性を啓発する取組も行っていることから、家庭でも意識が高まり、「残さず食べる」考えが深い理解を得ていると考えられます。									(横ばい)
										目標達成度 ■■ (達成)

基本事業04 教育相談体制の充実

指標①	不登校出現率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	%	1.81	2.02	2.11	1.3	
評価	（状況）平成29年度は2.11%で、後期基準値より0.3ポイント、平成28年度より0.09ポイント増加となっています。 （原因）各学校におけるきめ細かい対応やスクールソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーなどとの連携による取組による一定の効果は認められ、再登校に繋がる児童・生徒もいますが、それ以上に心のケアが必要な児童生徒の増加のスピードが速いと考えられます。									(横ばい)
										目標達成度 ■■ (低)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 教育相談体制の充実

指標②	再登校率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	学校教育課	%	35	36.4	36	40	
評価	(状況) 平成29年度は36.0%で、平成28年度より0.4ポイント減少しているものの、後期基準値より1.0ポイント増加しており、横ばいです。 (原因) 不登校児童生徒の支援体制を充実し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの活動が円滑に行われていることが要因です。									(横ばい)
										目標達成度 (中)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標①	授業及び学校生活に支障をきたした不具合件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	教育総務課	件/年	0	0	0	0	
評価	(状況) 平成29年度も不具合件数が0件であり、後期目標値を達成しています。 (原因) 学校施設の維持管理に当たっては、定期的に施設設備の点検を行い、不具合発生前に修繕箇所を手当てするなど、きめ細かい対応を行った結果と考えられます。									(横ばい)
										目標達成度 (達成)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

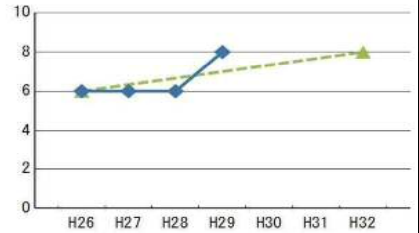
指標②	学校施設の改修棟数（累計）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	教育総務課	棟	7	2	6	7	
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方) (状況) 平成29年度は、多賀城八幡小学校(屋内運動場)、山王小学校(エレベータ)、東豊中学校(柔剣道場)及び高崎中学校(柔剣道場)の4棟を実施し、累計6棟の改修が終了しています。 (原因) 教育環境の充実のため、多賀城市公共施設等総合管理計画に基づく改修が計画的にできていることが要因です。									(向上)
										目標達成度 (高)

基本事業05 安全・安心な教育環境の整備

指標③	登下校時の事故・事件に巻き込まれた児童・生徒数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	学校教育課	人/年	45	15	9	0	
評価	(状況) 平成29年度は9人で、後期基準値より36人、平成28年度より6人減少しました。 (原因) 全国で凶悪事件が発生する中、関係機関との連携により、素早い対応を行っています。児童生徒への啓発活動や学校独自の取組、地域住民の協力による安全・安心な環境づくりが進んでいることが数値を低い水準に抑えられている要因と考えられます。									(向上)
										目標達成度 (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業06 新たな時代に対応するための取組推進

指標①	新たな時代への教育取組推進数（累計）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	学校教育課	件	6	6	8	8	
評価	目標値は平成32年度までの累計(実績値も同様の考え方)				〈件〉 					目 標 達成度
	(状況) 平成29年度は8件で、後期基準値及び平成28年度から2件増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成29年度は、新たに学校適応アセスメント検査事業、ICT教育推進に取り組んだことが要因です。小学校理科支援事業、学習個別支援事業、特別支援教育支援事業は、取組を継続しています。平成29年度に中学校生活指導支援事業と心の教室相談事業を総合事業化して子どもの心のケアハウス運営事業を実施しています。学校図書館補助員配置事業は、平成28年度から市立図書館の事業として再編しています。									---

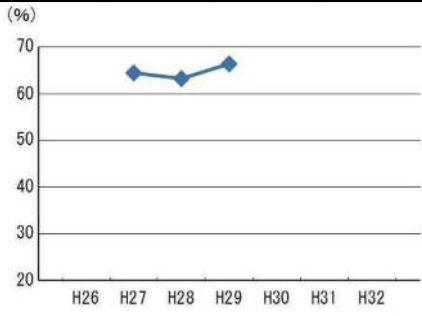
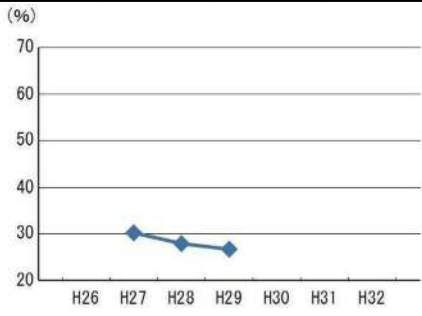
政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 03 生涯学習の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民（学習をする立場、学習成果を還元する立場）	市民が知性と豊かな心を育むために、生涯学習活動を行っています。 市民が生涯学習の成果を地域や社会に生かしています。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習を行っている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	63.3	66.4	➔	☀ (横ばい)
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。									目標 達成度 ■ (中)
	(状況) 平成29年度は66.4%で、平成27年度より1.9ポイント、平成28年度より3.1ポイント増加しています。 (原因) 健康・スポーツや芸術(音楽や美術など)の活動をしている割合が高く、学びの機会に参加した市民が多いことが指標値の高水準の維持に繋がっていると考えられます。特に健康・スポーツに関する割合が、3.1ポイント増加していることが要因と考えられます。									
指標	生涯学習の成果を地域や社会に生かしている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	27.9	26.7	➔	☁ (横ばい)
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。									目標 達成度 ■ (中)
	(状況) 平成29年度は26.7%で、後期基準値より3.5ポイント、平成28年度より1.2ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 年齢を問わず生涯学習で身につけた知識や技術を地域や社会のために生かす機会が少ないこと、また、特に社会において一定の地位を有していると思われる40代、50代層において、平均24.3%と全体平均を下回っており、こうした傾向が、指標値が伸び悩んでいる要因と考えられます。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 学習機会の充実

基本事業 02 市民創造型生涯学習の推進

基本事業 03 芸術文化の振興

基本事業 04 生涯学習施設の運営

基本事業 05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

基本事業01 学習機会の充実

指標①	講座・教室メニュー数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	生涯学習課	講座/年	77	195	288	90
評価					(講座/年)				(向上)
	(状況) 平成29年度は288講座で、後期基準値より211講座、平成28年度より93講座増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 施設利用者の意見やアイデアを反映した事業を企画するなど、生涯学習機会を増やす取組を行いました。特に図書館においては、専門的知識を活用しながら、利用者ニーズに合わせて積極的に講座を開催しており、平成29年度に61講座増加したことも大きな要因です。								目標達成度 (達成)

基本事業01 学習機会の充実

指標②	生涯学習講座等の延べ受講者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	7,254	7,319	11,675	7,600
評価	年間延べ人数です。				(人/年)				(向上)
	(状況) 平成29年度は11,675人で、後期基準値より4,421人、平成28年度より4,356人増加し、後期目標値を達成しました。 (原因) 平成28年度との比較では、特に中央公民館は276人、市立図書館が4,259人増加しています。市立図書館においては、時代に即応した講座やライフステージに応じた教室の開催や公民館の高齢者教育事業については、他の公民館と連携し、相互参加を行っており、こうした取組により、受講者の学習機会を創出していることが要因と考えられます。								目標達成度 (達成)

基本事業01 学習機会の充実

指標③	学習機会が充足していると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	53.2	44.6	45	→
評価					(%)				(低下)
	(状況) 平成29年度は45.0%で、平成28年度より0.4ポイント増加しているものの、後期基準値より8.2ポイント減少しています。 (原因) 講座メニューの多様化や新図書館開館により、今まで以上に学習の場の提供に繋がっており、平成27年度以降は徐々に向上していますが、後期基準値との比較では、指標値の向上に繋がっていません。30代から50代までの働き盛りの世代の数値が伸び悩んでおり、生活の忙しさから講座受講が困難な状況にあることが要因と考えられます。								目標達成度 (中)

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標①	市民主体の学習サークル数（社会教育登録団体）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	団体	184	211	212	200
評価					(団体)				(横ばい)
	(状況) 平成29年度は212団体で、後期基準値より28団体、平成28年度より1団体増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 団体登録者のほとんどが毎年度登録更新をしており、新規の団体も増加しています。サークル活動の活発化が要因と考えられます。								目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 市民創造型生涯学習の推進

指標 ②	市民主体の学習サークル登録者数（社会教育登録団体）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,604	5,406	5,484	3,900	
評価					(人)					☀ (向上)
	(状況) 平成29年度は5,484人で、後期基準値より1,880人、平成28年度より78人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成28年度の団体登録者のほとんどが登録更新したことや新規の団体の増加にみられるように、サークル活動が活発化していることが要因と考えられます。									目標 達成度 🏰 (達成)

基本事業03 芸術文化の振興

指標 ①	文化センター等での芸術文化の鑑賞者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	76,812	75,778	134,274	85,000	
評価					(人/年)					☀ (向上)
	(状況) 平成29年度は134,274人で、後期基準値より57,462人、平成28年度より58,496人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 主に市民会館では、利用件数の増加に伴い、鑑賞者数が57,663人増えています。各公民館において事業の拡大及び企画立案の改善を図ったことや、全国高等学校総合文化祭が開催されたことが要因と考えられます。									目標 達成度 🏰 (達成)

基本事業03 芸術文化の振興

指標 ②	芸術文化鑑賞をしている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	55.6	56.7	➡	
評価	平成27年度から取得開始した指標です。				(%)					☀ (横ばい)
	(状況) 平成29年度は56.7%で、平成27年度及び平成28年度より1.1ポイント増加しました。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 (原因) 主に芸術鑑賞している地域について、県内、県外も含めて、第1位が仙台市内、第2位が多賀城市内となっています。他の地域に比べて、芸術文化に触れる機会が多いことが要因と考えられます。									目標 達成度 ■ (中)

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標 ①	生涯学習施設の利用者数（図書館を除く）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	260,467	261,976	337,873	355,000	
評価					(人/年)					☀ (向上)
	(状況) 平成29年度は337,873人で、平成28年度より75,897人増加し、後期基準値より77,406人増加しています。 (原因) 全国高等学校総合文化祭の開催などの一時的な増加要因もありますが、利用者ニーズを反映させ、利用促進に取り組んだことが、増加した要因と考えられます。									目標 達成度 ■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 生涯学習施設の運営

指標 ②	生涯学習施設運営・管理上の不具合・支障件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	0	4	0	傘 (低下)
評価					〈件/年〉					目 標 達成度
	(状況) 平成29年度は4件で、後期基準値及び平成28年度より4件増加しました。 (原因) 文化センター会議室エアコンや焼窯の故障により、設備の交換が生じたことが要因です。施設設備の経年劣化によるものと考えられます。									■ (中)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標 ①	市立図書館の市民利用率				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	%	10	19.2	17.2	50	太陽 (横ばい)
評価	市民利用率とは、人口から実図書貸出人数の割合を算出した数値				〈%〉					目 標 達成度
	(状況) 平成29年度17.2%で、平成28年度より2.0%ポイント減少したものの、後期基準値より7.2%ポイント増加しました。 (原因) 開館時間の延長や365日開館などのサービス拡充により利便性が高まったことが、要因と考えられます。一方で、実質的な2年目を迎えた平成29年度は、貸出利用者がやや安定化してきた傾向があります。また、滞在型図書館であることから、蔵書の貸出を経ずに館内で閲覧している利用者も多くいるようです。									■ (中)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標 ②	市立図書館の登録者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	24,835	61,270	70,886	40,000	太陽 (向上)
評価					〈人〉					目 標 達成度
	(状況) 平成29年度は70,886人で、後期基準値より46,051人、平成28年度より9,616人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 仙石線多賀城駅前に移転し開館した図書館は、指定管理者による管理運営への移行とともに、開館時間の延長や365日開館などのサービス拡大に伴い、市内外問わず利用者が利用しやすい環境となったことが要因と考えられます。特に傾向としては、児童・生徒・一般・団体等の中でも、一般層が平成28年度より8,385人増加したことなどが大きな要因です。									達成 (達成)

基本事業05 市立図書館（文化交流拠点中核施設）の運営

指標 ③	市立図書館の利用者満足度				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	生涯学習課	%	—	80.6	80.3	➡	太陽 (横ばい)
評価	利用者アンケートの結果(年2回 9月と3月)				〈%〉					目 標 達成度
	(状況) 平成29年度は80.3%で、平成28年度より0.3%ポイント減少していますが、横ばいです。 (原因) 利用者アンケートを9月と3月に2回実施し、「大いに満足」及び「満足」が8割で高い水準を保っています。働く世代の利用率が高く、市民に次いで仙台北郊地からの利用者も多いことから、交通の利便性の良さ等も影響していることが要因と考えられます。									達成 (達成)

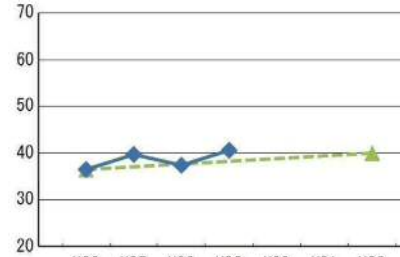
政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 04 市民スポーツ社会の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民	多賀城市型の市民スポーツ社会が進展し、多くの市民がスポーツに親しんでいます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	週1回以上スポーツ・運動をしている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき																
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	36.5	37.4	40.6	➔	 (横ばい)																
評価	(状況) 平成29年度は40.6%で、後期基準値より4.1ポイント、平成28年度より3.2ポイント増加しています。 (原因) スポーツ等の教室・大会数、スポーツ施設等の利用者数の指標が向上しています。特に地域の要望に応じて指導者を派遣する事業の依頼件数の増加が、大きく影響していることが要因と考えられます。					(%) <table><caption>実績値データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>36.5</td></tr><tr><td>H27</td><td>40.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>37.4</td></tr><tr><td>H29</td><td>40.6</td></tr><tr><td>H30</td><td>40.0</td></tr><tr><td>H31</td><td>40.0</td></tr><tr><td>H32</td><td>40.6</td></tr></tbody></table> 目標達成度  (達成)					年度	実績値 (%)	H26	36.5	H27	40.0	H28	37.4	H29	40.6	H30	40.0	H31	40.0	H32	40.6
	年度	実績値 (%)																								
	H26	36.5																								
H27	40.0																									
H28	37.4																									
H29	40.6																									
H30	40.0																									
H31	40.0																									
H32	40.6																									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 スポーツ機会の充実

基本事業 02 社会体育施設等の施設環境の充実

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標①	スポーツ等の教室・大会数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	回/年	87	113	136	95	
評価	(状況) 平成29年度は136回で、後期基準値より49回、平成28年度より23回増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブでは、特に各地域の要望に応じて指導者を派遣する事業や、各小学校の協力を得て学校体育館で行う児童の体力・運動機能の向上事業を実施したこと、また新規事業として「健康・スポーツ相談室」を実施したことなどが、要因です。									(向上)
										目標達成度 (達成)

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標②	スポーツイベント・教室に参加したことがある市民割合（この1年間）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	生涯学習課	%	—	15.2	16.4	→	
評価	(状況) 平成29年度は16.4%で、平成28年度より1.2ポイント増加しましたが、平成27年度とは同数値で、横ばいです。 (原因) スポーツ教室・大会件数が増加していることや、リピーターとしての参加があることなどが要因と考えられます。新たな参加者を増やす工夫を図る取組や平均で約13%の参加となっている、特に20代から50代までの参加割合を増やす取組が必要となっています。									(横ばい)
										目標達成度 (中)

基本事業01 スポーツ機会の充実

指標③	スポーツ普及団体の登録会員数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人	3,898	3,682	3,539	4,900	
評価	(状況) 平成29年度は3,539人で、後期基準値より359人、平成28年度より143人減少しています。 (原因) 多賀城市民スポーツクラブ会員及び体育協会会員数が減少傾向にあります。団体スポーツよりも個人スポーツに人気が集まり、クラブ等に属さないでスポーツを楽しむ傾向にあることが要因と考えられます。									(低下)
										目標達成度 (低)

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標①	スポーツ施設等の利用者数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	生涯学習課	人/年	322,238	360,940	352,738	350,000	
評価	(状況) 平成29年度は352,738人で、平成28年度より8,202人減少していますが、後期基準値より30,500人増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 中央公園が整備されたことによる利用者の増加が要因です。平成28年度との比較では減少していますが、これは学校施設開放事業において、多賀城八幡小学校体育館工事に伴い9か月間実施できなかったこと及び総合体育館の専用利用の減が主な要因です。									(横ばい)
										目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 社会体育施設等の施設環境の充実

指標②	スポーツ施設等の運営・管理上の不具合・支障件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	生涯学習課	件/年	0	0	2	0	
評価	(状況)平成29年度は2件で、後期基準値及び平成28年度より2件増加しました。 (原因)施設設備の機能低下が生じている総合体育館トレーニング室エアコン及び市民プールの熱交換器について、運営に支障をきたす恐れがあることから、設備修繕を行ったものです。施設の老朽化や設備の経年劣化によるものと考えられます。				(件/年) 					(低下)
										目 標 達 成 度 (低)

政策 03 歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち

施策 05 文化財の保護と活用

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内所在の文化財、市民	文化財が次の世代へ継承され、市民が市の歴史と文化に誇りを持っています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市の歴史と文化に誇りを感じる市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	%	46.8	52.4	54	➡	☀ (向上)
評価	(状況) 平成29年度は54.0%で、後期基準値より7.2ポイント、平成28年度より1.6ポイント増加しています。 (原因) 市民アンケートの結果、平成28年度よりやや増加し、平成26年度以降、緩やかな増加傾向にあると考えられます。平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたこと、平成29年度に多賀城廃寺跡などが東大寺展開連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。									目標 達成度
										■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 文化財の調査・保存の推進

基本事業 02 文化財の積極的な活用促進

基本事業 03 文化財の普及啓発の推進

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標 ①	文化財保護法により適正に保護された件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	代替	業務取得	その他	文化財課	件/年	175	223	209	—
評価	周知の埋蔵文化財包蔵地の届出等件数及び特別史跡内現状変更申請件数				(件/年)				目標 達成度
	(状況) 平成29年度209件で、平成28年度より14件減少していますが、後期基準値より34件増加しています。 (原因) 指標値として、周知の埋蔵文化財包蔵地の届出件数及び通知件数、特別史跡内における現状変更申請件数の合計としていますが、住宅建築や土木工事などの需要に伴い増減します。平成29年度は需要の減少が要因と考えられます。								---

基本事業01 文化財の調査・保存の推進

指標 ②	特別史跡の公有化率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	%	56.7	57.6	58	60
評価	(状況) 平成29年度は58.0%で、平成28年度より0.4%ポイント増加し、後期基準値より1.3%ポイント増加していますが、横ばいです。 (原因) 特別史跡指定面積が広大であり、平成26年度より一定の予算の範囲内で毎年度計画的に公有化を進めていることが要因です。								(横ばい) 目標 達成度 (中)

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

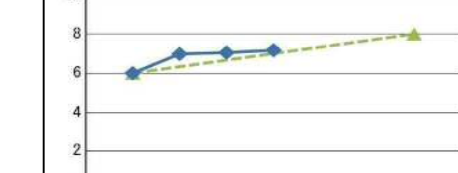
指標 ①	活用されている文化財の面積			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	m ²	287,842	307,898	309,538	303,000
評価	(状況) 平成29年度は309,538m ² で、平成28年度より1,640m ² 増加し、後期基準値より21,696m ² 増加していますが、横ばいです。 (原因) 平成28年度に歴史的食文化体験学習事業に伴いそば及び古代米の体験学習地を計上したこと、平成29年度に中央公園整備事業に伴い整備地が増加したことが要因です。								(横ばい) 目標 達成度 (中)

基本事業02 文化財の積極的な活用促進

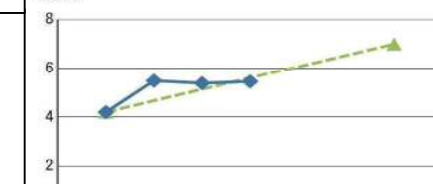
指標 ②	市内所在の文化財訪問者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	人/年	132,031	129,888	144,577	140,000
評価	(状況) 平成29年度は144,577人で、平成28年度より14,689人増加し、後期基準値より12,546人増加しており、向上しています。 (原因) 多賀城跡あやめまつりの入込数が増加傾向にあることや平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果などに加え、平成29年度に多賀城廃寺跡などが東大寺展開連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。								(向上) 目標 達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

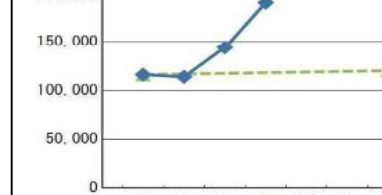
基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ①	市内所在文化財の平均認知項目数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	6	7.05	7.17	➔	 (横ばい)
評 価	(状況) 平成29年度は7.17項目で、平成28年度より0.12項目増加し、後期基準値より1.17項目増加していますが、横ばいです。 (原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果などに加え、平成29年度に多賀城廃寺跡などが東大寺展関連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。一方で多賀城跡、多賀城廃寺跡、多賀城碑など知名度の高い所の認知項目数は多いものの、知名度が低い所の認知項目数が伸びていないことが向上に繋がっていない要因と考えられます。				 (中)					 目標 達成度

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ②	市内所在文化財の平均訪問項目数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき																								
	成果	市民アンケート	上がると良い	文化財課	項目	4.2	5.38	5.45	➔	 (横ばい)																								
評価	(状況) 平成29年度は5.45項目で、平成28年度より0.07項目増加し、後期基準値より1.25項目増加していますが、横ばいです。 (原因) 平成28年度に多賀城跡などが日本遺産に認定されたことによるPR効果などに加え、平成29年度に多賀城廃寺跡などが東大寺展関連イベントの会場として使用されたことなどが要因と考えられます。一方で多賀城跡、多賀城廃寺跡、多賀城碑など知名度の高い所の訪問項目数は多いものの、知名度が低い所の訪問項目数が伸びていないことが向上に繋がっていない要因と考えられます。				(項目)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>基準値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>4.2</td><td>4.2</td></tr><tr><td>H27</td><td>4.2</td><td>5.38</td></tr><tr><td>H28</td><td>4.2</td><td>5.38</td></tr><tr><td>H29</td><td>4.2</td><td>5.45</td></tr><tr><td>H30</td><td>4.2</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>4.2</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>4.2</td><td>7.0</td></tr></tbody></table>					年度	基準値	実績値	H26	4.2	4.2	H27	4.2	5.38	H28	4.2	5.38	H29	4.2	5.45	H30	4.2	-	H31	4.2	-	H32	4.2	7.0	目標 達成度 (低)
					年度	基準値	実績値																											
H26	4.2	4.2																																
H27	4.2	5.38																																
H28	4.2	5.38																																
H29	4.2	5.45																																
H30	4.2	-																																
H31	4.2	-																																
H32	4.2	7.0																																

基本事業03 文化財の普及啓発の推進

指標 ③	市内文化財への情報アクセス数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	目標値 (H32)	指標の うごき																								
	成果	業務取得	上がると良い	文化財課	件/年	116,000	143,885	190,279	120,000																									
評価					(件/年)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>116,000</td><td>120,000</td></tr><tr><td>H27</td><td>116,000</td><td>120,000</td></tr><tr><td>H28</td><td>143,885</td><td>120,000</td></tr><tr><td>H29</td><td>190,279</td><td>120,000</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>120,000</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>120,000</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>120,000</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	目標値	H26	116,000	120,000	H27	116,000	120,000	H28	143,885	120,000	H29	190,279	120,000	H30	-	120,000	H31	-	120,000	H32	-	120,000	☀ (向上)
	年度	実績値	目標値																															
H26	116,000	120,000																																
H27	116,000	120,000																																
H28	143,885	120,000																																
H29	190,279	120,000																																
H30	-	120,000																																
H31	-	120,000																																
H32	-	120,000																																
	(状況) 平成29年度は190,279件で、平成28年度より46,394件増加し、後期基準値より74,279件増加しており、向上しています。 (原因) 平成26年以降に歴なび多賀城のダウンロード数が順調に増加していること、平成29年度に東大寺展関連イベントの開催等に伴い市ホームページを適時更新していることなどが要因と考えられます。									🏠 (達成)																								